

イノン ドームレンズユニットⅢA / ドームレンズユニットⅢG

イノン製品のお買い上げ有難う御座います。

イノン ドームレンズユニットⅢは、弊社ワイドコンバージョンレンズ「UWL-95S XD」「UWL-95 C24」シリーズの前面に取り付けるだけで、水中でのワイドコンバージョンレンズ単独使用時に比べて「よりワイドな撮影」、及び「より近接した撮影」を水中で実現可能とする、オプションドームレンズです。

当製品を単体で使用する事は出来ません。別途、対応するアタッチメントレンズをご用意下さい。また、アタッチメントレンズへの着脱を、お客様ご自身にて気密を保った状態で行う必要がある本製品の性質上、実際に着脱作業やご使用を始める前に、本使用説明書の内容を充分にご理解頂く事をお勧めします。

製品の主な特徴

- 弊社ワイドコンバージョンレンズ「UWL-95S XD」「UWL-95 C24」シリーズ(水中画角約 95°)と組み合わせることで、**水中画角が約 141°**まで広がります。大型センサーを採用したコンデジでも四隅がケラれることなく、ダイナミックな**セミフィッシュアイ撮影**が可能です。
- レンズ素材が異なる「ドームレンズユニットⅢA(アクリル)」とドームレンズユニットⅢG(ガラス)の 2 種類をラインナップ。筐体部が共通なので、修理の際にアクリル⇄ガラスの素材変更が可能です。
- 極めて広い画角を確保すると同時に、最短撮影距離の大幅な短縮をも考慮した光学設計によって、**超ワイドマクロ撮影**にも威力を発揮します。

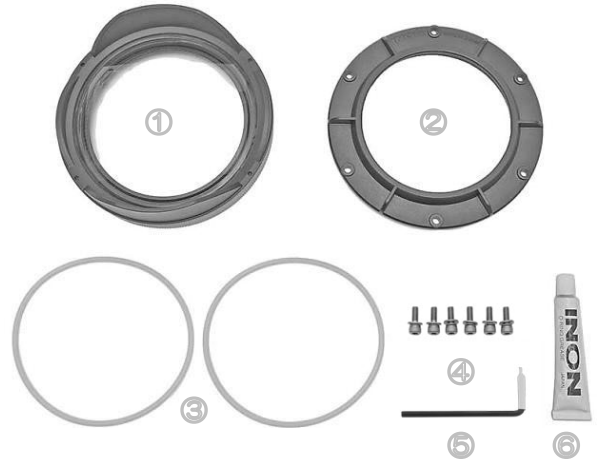
対応レンズ

(2022 年 10 月現在)

- ・ UWL-95S XD
- ・ UWL-95 C24 M52
- ・ UWL-95 C24 M67 Type1 / Type2

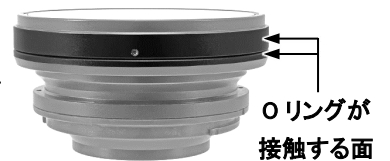
製品内訳

- ・ ドームレンズユニットⅢ本体 (一体型プロテクター含) ① ×1
- ・ ドームレンズユニットⅢ押え ② ×1
- ・ Oリング黄 ③ ×2
- ・ M4×12 座金組込み キャップネジ(W セムス) ④ ×6
- ・ 専用工具 ⑤ ×1
- ・ イノングリス ⑥ ×1



ワイドコンバージョン レンズの確認

- ・ レンズ筐体の対物側先端部の外周で、特に**右図の濃い色で示した範囲に、キズや異物の付着等がない事を確認して下さい**。キズ等がある場合、ワイドコンバージョンレンズとドームレンズユニットⅢとの防水を行う事が出来ませんので、有償でのワイドコンバージョンレンズの金属製レンズ筒交換を行う必要があります。詳細は、ご購入頂いた販売店、若しくは直接弊社までご相談下さい。
- ・ 最も被写体側のレンズ面に重度のシミ/ヤケ等が無い事を確認して下さい。ドームレンズユニットの取り付け自体は可能ですが、写り込み等、得られる画像に問題が生じる可能性があります。ワイドコンバージョンレンズの修理をご希望の際には、有償でのレンズ交換となります。詳細は、ご購入頂いた販売店、若しくは直接弊社までご相談下さい。



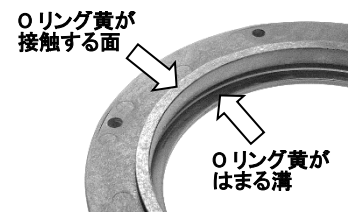
組立前の準備

- ・ ドームレンズユニットⅢ本体、ドームレンズユニットⅢ押え、及びドームレンズユニットⅢの取り付けを行うワイドコンバージョンレンズについて、**完全に乾燥している事を確認して下さい**。取り付け時との露点の差により、使用中に結露が生じる事を防ぐ為です。
- ・ 必要に応じ、ドームレンズユニットⅢ、及びドームレンズユニットⅢの取り付けを行うワイドコンバージョンレンズの**レンズ面の清掃を行って下さい**。
- ・ ドームレンズユニットⅢ本体、及びドームレンズユニットⅢ押えについて、右図矢印で指し示す、**Oリングに接触する面、及びOリングがはまる溝にキズや異物の付着等がない事を確認して下さい**。
- ・ Oリング黄について、**キズ/ひび割れや異物の付着等がない事を確認して下さい**。

ドームレンズユニットⅢ本体



ドームレンズユニットⅢ押え



- ・ **ドームレンズユニットⅢ本体をワイドコンバージョンレンズに取り付けます**

温度の低い乾燥した室内にて、以下作業を行って下さい。

- A) ドームレンズユニットⅢ本体のプロテクターの突起部側を下に向けて置きます。
 B) ワイドコンバージョンレンズをドームレンズユニットⅢ本体にそっと置き、ガタつきがなくなるまで、しっかりとはめ込みます。

(A)

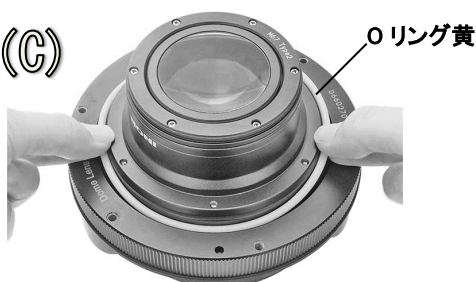


(B)

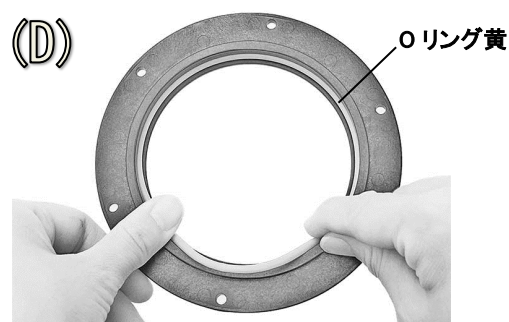


- C) イノグリスを指先に米粒大取り、指の先で広げてから、O リング黄に薄く塗布した後、ドームレンズユニットⅢ本体とワイドコンバージョンレンズの隙間に、O リング黄をセットします。この際に O リングがねじれない様に注意して下さい。
 D) もう 1 本の O リング黄にも C)同様にイノグリスを塗布して、ドームレンズユニットⅢ押えの内側の溝にセットします。O リング黄がはみ出ないように指で押えながら、溝の奥まで均一に取り付けて下さい。

(C)



(D)



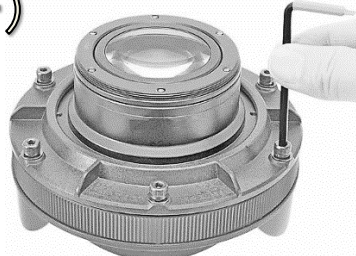
必ずワイドコンバージョンレンズを置いてから O リング黄をはめること

- E) ドームレンズユニットⅢ押えを、ドームレンズユニットⅢ本体のネジ穴に合わせて重ねます。
 F) 6 つのネジ穴にそれぞれキャップネジを落とし、専用工具を用いて軽く止まる所まで締め、ドームレンズユニットⅢ押えを仮止めします。締め過ぎると、次の工程(プロテクターの位置合わせ)が困難になります。ご注意下さい。

(E)



(F)



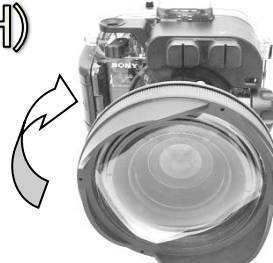
- ・ **一体型プロテクターの位置を合わせます**

- G) ワイドコンバージョンレンズの根本部分を持ち、ご使用のハウジングに(完全に奥まで)取り付けます。
 H) 一体型プロテクターの大きい突起部が、ハウジングの上下方向に位置する様、ドームレンズユニットのみを、ワイドコンバージョンレンズをハウジングへ取り付ける際と同じ方向に回転させて合わせて下さい。(※)この際、仮止めされている O リングがずれたり振れたりしない様、ゆっくりと回転させて下さい。
 (※) ドームレンズユニットを何度も回転させ続けると、レンズがハウジングに過度に締め付けられて、外れなくなる可能性がありますので、ご注意下さい。

(G)



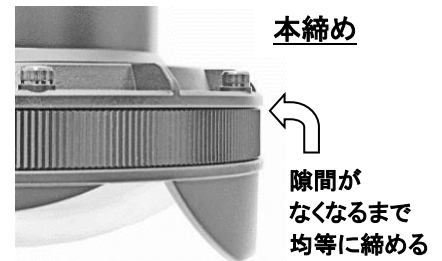
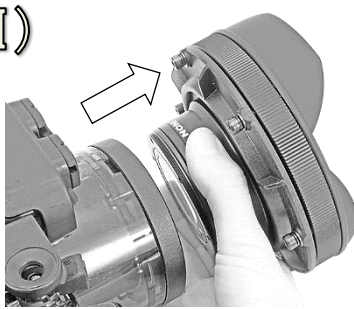
(H)



・ **ドームレンズユニットを完全に固定します**

- 1) ワイドコンバージョンレンズの根元部分を持ち、一体型プロテクターの突起部方向をずらさない様に注意しつつ、ご使用のハウジングから取り外した後、付属の**専用工具**を用いて**キャップネジを対角線状に均等に締め付けていきます。**

(I)



締め付けに関するご注意

- ・ **専用工具の短辺[黄色チューブで被覆された側]ではなく、長辺をキャップネジに差し込み、適度な力で締め付けを行って下さい。**
- ・ 一部だけが締め付けられたような不均等な締め付けは、浸水の原因となりますので、ご注意下さい。
- ・ **締め過ぎるとドームレンズユニット皿押えが破損する可能性がありますので、止まったところで締結をやめて下さい。**

使用中のドームレンズユニット内面への結露発生を防ぐ為、ワイドコンバージョンレンズへの取り付けを行う場合には必ず、

- 1) ドームレンズユニット皿/ワイドコンバージョンレンズの双方が完全に乾燥している事を確認した後、
- 2) 温度の低い、乾燥した室内にて作業を行って下さい。

使用前検査

- ・ 組み立てたドームレンズユニット皿/ワイドコンバージョンレンズをご使用になる前には、組立が正しい手順で行われ、ドームレンズユニット皿とワイドコンバージョンレンズとの間が気密に保たれている事を確認する為、**必ず、清浄な真水(30℃以下)を満たした風呂等に、組み立てたドームレンズユニット皿/ワイドコンバージョンレンズを洗って静置し、両者の間に浸水が無い事を確認して下さい。**

使用方法

- ・ **ハウジングへの取り付けについて**
各対応アタッチメントレンズ付属の使用説明書をご確認下さい。
ハウジング前面のレンズとワイドコンバージョンレンズの間に空気が入らぬ様、**水中で取り付けを行う**、或いは、**水中で一旦取外し、取り付け直す** 事をお勧めします。
- ・ **カメラのズーム設定について**
カメラのズーム位置はワイド端にセットしてご使用下さい。ケラレが発生する場合には、撮影後にケラレをクロップするか、ワイド端から最小限必要なだけズームしてご使用下さい。

メンテナンスについて

- ・ ご使用後は、**必ずハウジングから取り外し**、清浄な真水中(30℃以下)に数時間静置して塩分等を除いた後、エアガン等で**水滴を吹き飛ばし、レンズ面に水滴が残っていない事を確認します。そのままの状態、直射日光の当たらない**、風通しの良い場所に置き、乾燥させて下さい(完全乾燥には数日掛かる可能性があります)。
- ・ **完全に乾燥させた後に**、前述「組立方法」の項と逆の手順でドームレンズユニット皿をワイドコンバージョンレンズから取り外し、Oリング、Oリングがはまる溝、Oリングが接触する面の清掃、及び、ドームレンズユニット皿本体のネジ穴のグリスアップを行って下さい。
- ・ グリスアップ後は、直射日光の当たらない、風通しの良い場所で保管して下さい。樟脳やナフタリン等の薬品雰囲気下や、高湿度下、温度変化の激しい場所等での保管は、故障や浸水、レンズ表面の変性やカビの発生等の原因となりますので、お止め下さい。



使用上の注意

- ・ ワイドコンバージョンレンズの後付けオプションという本製品の性質上、(上述の)使用ズーム位置を守ったとしても、ワイドコンバージョンレンズ単体での使用時と比較して、特に周辺部における画質の劣化が生じる場合があります。**カメラの絞りをなるべく絞り込む事で、画質を向上させる事が可能**です。ご了承頂くと共に、使用時にご考慮下さい。
- ・ **ご使用後、レンズ面に水滴(海水/真水共に)を残したまま放置したり、濡れたレンズカバーを取り付けたり等、しないで下さい。**コーティングやガラス等の劣化による、シミ/ヤケ等の原因となります。軽度のシミ/ヤケは撮影に支障を来たしませんが、重度の場合は問題となる可能性があり、修理をご希望の際には、有償でのレンズ交換となります。
- ・ **特に、環境温度が高く、レンズ面に残った水滴が直ぐに蒸発してしまう様な状況などでは、エキジット後に短時間放置しただけでも、重度のシミ/ヤケに発展する可能性が高く、十分な注意が必要です。**
- ・ **本製品を分解しないで下さい。**故障や浸水の原因となります。また、本製品を組み付けたワイドコンバージョンレンズをハウジングから取り外す際には、**本製品を持たず、ワイドコンバージョンレンズのレンズ筒中央部分(“製品名の印刷”や“シールが貼ってある”部分)を持って回転させて下さい。**ドームレンズユニットⅢに過度の力を加えた場合、ワイドコンバージョンレンズとの防水部分や、ワイドコンバージョンレンズ内のレンズを押えている部分に緩みが生じ、浸水が起こる可能性があります。
- ・ ボートなどの激しい振動や大きな衝撃をドームレンズユニットⅢに与えないで下さい。故障や浸水の原因となります。
- ・ 不用意に直射日光の当たる場所に放置しないで下さい。太陽光が集光され、火災の原因となる場合があります。また、レンズを通して太陽を見ないで下さい。眼に損傷を受ける可能性が有ります。
- ・ 砂浜や船のデッキ上など、強い直射日光の当たる場所や、炎天下の自動車内など、高温となる場所に放置しないで下さい。故障や浸水の原因となります。
- ・ カメラの内蔵ストロボ光は基本的にケラれます。対応する外部ストロボ(弊社 Z-330 等)の使用をお勧めします。

オプションについて

- ・ **ドームポートカバー-S**
ウエットスーツと同じネオプレンゴム製の、水中使用が可能なレンズカバーです。生地自体にクッション性があるので持ち運び時、レンズを保護することができます。持ち運びや着脱の際、凸状のドームレンズを保護する為、ご使用の直前まで当カバーを装着しておく事をお勧めします。
- ・ **交換用 O リング (ドームレンズユニットⅢ用)**
製品内訳画像中③の 1 本です。



イノン ドームレンズユニットⅢA 主要性能 [(1)]	
外径	φ124.8mm
全長 (単体)	47.8mm
(UWL-95S XD装着時)	76.8mm
(UWL-95 C24装着時)	76.5mm
重量 (単体陸上)	272g
(UWL-95S XD装着時水中)	404g
(UWL-95 C24装着時水中)	【M52】412g 【M67】420g
実用耐水深	60m
本体材質 / 表面処理	耐蝕アルミ合金 / 硬質黒アルマイト / ポリカーボネート等
硝材 / 表面処理	光学アクリル / 内面(減反射)マルチコーティング

イノン ドームレンズユニットⅢG 主要性能 [(1)]	
外径	φ124.8mm
全長 (単体)	47.8mm
(UWL-95S XD装着時)	76.8mm
(UWL-95 C24装着時)	76.5mm
重量 (単体陸上)	372g
(UWL-95S XD装着時水中)	489g
(UWL-95 C24装着時水中)	【M52】497g 【M67】505g
実用耐水深	60m
本体材質 / 表面処理	耐蝕アルミ合金 / 硬質黒アルマイト / ポリカーボネート等
硝材 / 表面処理	光学ガラス / 内面(減反射)マルチコーティング

[(1)] 性能、価格等、予告なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。

株式会社 イノン

〒247-0061

神奈川県鎌倉市 2-18-9

Tel. 0467-48-2174

Fax. 0467-48-2178

E-mail support@inon.co.jp

URL <http://www.inon.co.jp/>

2022 年 10 月